

大学院現代芸術文化論 特別講義

2012年5月30日(水)

14:40-17:50

神戸芸術工科大学 1114 大講義室 (申込不要、聴講無料)

Sputniko!

神戸芸術工科大学 アート & デザイン 特別講義

問題解決するデザインではなく、問題を創造して思考する、「クリティカルなデザイン」について、Sputniko! が自身の作品紹介をしながら講義をします。

2011年3月11日の東日本大震災以後、未来の日本の社会やエネルギーの在り方、政治について、若い世代が活発にソーシャルメディアでクリティカルな議論をするようになりました。そういった時代の中でのクリティカル・デザイン・シンキングの重要性を考えます。



Photography Kai Royal
生理マシーン、タカシの場々。 / 2010



クリティカル・デザインで
想像する未来

■両親ともに数学者で、英国人の母と日本人の父の間に生まれる。インペリアル・カレッジ・ロンドンの数学科および情報工学科を20歳で卒業後、フリープログラマーとして活動。その後、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート大学院 Design Interactions 科修士課程を修了。在学中より、テクノロジーによって変化していく人間の在り方や社会を反映させた作品を制作。

■2009年、原田セザール実との共同プロジェクト《Open_Sailing》が、アルス・エレクトロニカで [the next idea] 賞を受賞。2012年より神戸芸術工科大学大学院客員教授。

■主な展覧会に、「東京アートミーティング トランスフォーメーション」(東京都現代美術館、2011)「Talk to Me」(ニューヨーク近代美術館、2011) など。